



# 校長室だより 笑顔



◆さくら児童会スローガン：協力し 笑顔あふれる あかいつ子◆

さくらだいこくん

## タブレットを活用した ICT 教育活動



2019年にGIGAスクール構想が発表され、児童生徒全員に一人一台のタブレット等のデバイス（端末）整備する施策が提示されました。東松島市では他に先駆けて今年一人一台のタブレットが配置されました。本校では定期的に職員のICTのスキルアップ研修を実施して、子供たちがタブレットを活用した授業や家庭学習ができるように取り組んでいます。その一端を紹介します。

※ICTとは「Information and Communication Technology（情報通信技術）」の略で、通信技術を活用したコミュニケーションを指します。

### 取組1 授業での活用「考えを共有して、自己の考えを深める」

下は6年生の国語の授業。①登場人物の心情の変化を付箋紙に書き、自分の考えを発表してボードにまとめています。②グループ毎にまとめたものをタブレットで写真に撮り、教師のタブレットにデータ送信します。③グループのデータがスクリーンに大きく映し出され、グループの発表をします。発表を聞いて、更に自分の考えを再構築させ考えを深めます。ICT活用に利点として、データ送信により教師は各グループの考えを容易に確認できます。また、送られたデータで重要な部分を拡大して提示できます。更にデータを蓄積して場面毎の心情の変化を追うことができ、読解力が深まります。

①



自分の考えをグループで発表

②



タブレットで教師へデータ送信

③



データ写真を大きく拡大して発表

### 取組2 スキルアップ業前活動（全校）「PCタイム」の実施



どの指を使うかも教えてくれます（2年生） 得点も出て、楽しくタイピング（4年生）

本校では算数のドリル学習に特化したスキルアップタイム（SUT）を実施していますが、PC版を今年度から業前活動でスタートさせました（年10回）。現在、取り組んでいるのはタイピングです。今後も操作並びに活用のスキルを身に付けさせます。更に、視力や睡眠等を考えるメディア・コントロールも取り上げます。

昔は「読み・書き・そろばん」と言われましたが、今では「読み・書き・タブレット」でしょうか。ICT教育は端末を活用し、身に付ける力は知識や思考力、表現力、コミュニケーション能力等の生きる力です。声に出して読む、思いをノートに綴る、考えを伝え合う等の「読み・書き」もこれまで通りに重要視して、ICTを取り入れた教育活動を実施していきます。

夏休みにはタブレットを持ち帰りタイピングやドリルに取り組むようにします。親子で一緒に試してみようか。

## 感染予防を徹底しプール開き&着衣泳!



今年、全校最初の入水(5年生) 初めての小学校プール(1年生)

1年振りにプール清掃を全校児童で実施し、きれいになったプールで水泳学習が始まりました。プール開きはリモート集会で行いました。天候不順で予定通りに入れない日が続いていますが、梅雨空の晴れ間に、入水して体力と泳力を伸ばしています。

今週は水難防止に向けて着衣泳の学習を行います。今年は夏休みのプール開放も実施します!

## 1・2年生 水辺の生き物・4年生 ツリーハウス



「何があるかな〜」(1・2年) アスレチック制覇!(4年生)

7月2日(金)は、子供たちがタオルや靴を真っ黒にして帰ってきました。1・2年生は田んぼに出掛けて生き物採集。フナやカエル、メダカ等々、小職に「見てください。魚が捕れました。」と目を輝かせて飼育ケースを持ち上げて見せてくれました。

4年生は、「ふるさと教室〜逆川キャンプ場自然体験〜」に行きました。ツリーハウス登りや杉の皮むき、アスレチック等、森の中で五感を働かせた体験をしました。

## 5年生 自然を満喫!花山宿泊学習!



助け合って、急流や崖に挑んだ沢登り おいしいカレーライスができました

5年生が7月7日(水)〜9日(金)の3日間、花山宿泊学習を行いました。赤井小から大自然の花山青少年自然の家に学び舎を替えて、登山や沢登りの自然体験、野外炊飯、さらに清掃や入浴などの共同生活を行いました。活動をとおして「協力・責任・感謝」のめあて達成に向けて頑張りました。花山で身に付けたたり学んだりした力を、今後、学校や家庭で発揮すると思います。

礼儀正しく、優しい姿の5年生でした。



## 東松島市子ども未来サミット開催!子ども宣言作成中



左の写真は3年生以上の代表者で話し合う代表委員会の写真です。議題は「デジタルメディア・コントロールについて」です。7月31日(土・9時)に東松島市内全小・中学校の代表児童生徒が集まり、通信ゲームやSNS等デジタルメディアと上手に付き合う「子ども未来サミット・子ども宣言2021」が発表されます。その宣言策定に伴い、児童ができることを話し合いました。当日はネットでも配信する予定ですので、持ち帰るタブレットでサミットを視聴することができます。子ども宣言を基に具体的な取り組みを二中学区で進めていきます。



昨年の未来サミットの講演「脳の発達とスマホやゲームの関わり方」で、瀧靖之教授(東北大学加齢医学研究所)が、小学校時期はアウトドア体験を勧めていました。運動や好奇心、コミュニケーションの要素があるアウトドア体験は子供の脳に非常に良い刺激になるそうです。夏休みには、自然の中で虫取りや料理・キャンプはどうでしょう。